

テレワークでの取組

株式会社 協和



平成23年から実施している朝のエクササイズを、コロナ禍でテレワークが増えたため、いち早くオンライン化。ウォーキング動画の配信も開始。

テレワーク導入後、会えないことの不安や孤独感、コミュニケーション不足が課題となったが、お互いの顔が見える安心感や、同僚と繋がる取組となった。

令和元年6月より一般にも公開しお客様と従業員が繋がっている。



凸版印刷株式会社

当社では、JOCをはじめとする各団体と連携しながら、車いす陸上、女子ラグビー、車いすテニス、陸上競技（短距離）の各種目の選手をスポーツ専従社員として採用している。

今年度は、雇用アスリートの提案で、在宅勤務を始めた社員に運動不足解消のため、ストレッチや筋トレ等の動画を配信した。

身近なアスリートからの指導により、運動意欲やスポーツへの参加意欲を高めることができた。今後、SNSを活用して、様々な情報発信をしていく。アスリートとしての社会的意義など彼らが考えていることを少しずつ形にできればと考えている。



雇用アスリートによる取組

職場での取組

日本交通株式会社 赤羽営業所



平成28年にモデル企業に選定された取組の一つである「ウォーキングを兼ねた清掃ボランティア」を継続して実施している。新型コロナウイルス感染症拡大により、限られた人数での実施となっているが、これは創設以来から継続している取組で、職員各自が自由に参加し、健康増進と社会貢献につながっている。



「新しい日常」のスポーツ

今年度は、ウィズ・コロナ時代における

「新しい日常」において、

密を避ける等の工夫をして

スポーツに取組んでいる事例を

令和元年度の推進企業から募集し、

都のHPで紹介しました。

その一例をご紹介します。

株式会社
THINK フィットネス

社員として働きながら競技を続けている「ビジネスアスリート」を支援している。「感染症拡大の影響により、しばらくの間、活動は休止していたが、令和2年6月から感染防止対策を徹底した上で「東京ヴェルディGold'sバスケットボールチーム」と「ゴールドジムベースボールクラブ」の活動を再開した。バスケットボールチームでは、体育館に入る前の検温等の体調管理を徹底し、ベースボールクラブでは、使用する球場へ体調管理表を提出する等の対策を徹底した。

今後も選手が長く競技を続けるための環境づくりを提供していく。



その他の取組

上記を含む20事例を紹介していますので、ぜひご覧ください。

スポーツTOKYOインフォメーション◆「新しい日常」のスポーツ スポーツ推進企業の取組

https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/sports_in_newdailylife/sportspromotioncompany.html